

みんなで創る総合博物館～三重県総合博物館のプログラミング～

三重県総合博物館は、MieMu（みえむ）の愛称で親しまれている三重の「歴史」と「自然」を同時に「魅せる」新しいかたちの博物館です。今回の拡大研究会は、老朽化した博物館を、公文書館機能を含めて新築・移転した建築プログラミングプロセスを題材に実施します。同博物館は、当初は既存博物館の関係者中心に、メインテーマを「多様性」とした基本構想を策定し、その後建築専門職の参画を得て、紆余曲折しながら、展示計画、収蔵、必要な機能、面積規模を含む諸条件を基本計画としてまとめ、プロポーザルを経て、平成26年4月にオープンしました。一連のプロセスの各時期における作業や組織体制、建築専門職の参画の時期と役割、予算確保や県民の理解、運営に至る各種の条件をどのように優先順位付け整理して行ったか、当時の関係者の生の言葉で、そのプロセスを探ります。またプログラミングの評価として、担当設計者や管理運営者からもお話を伺い、その効果や有用性について議論します。

主 催：建築社会システム委員会 建築プログラミング小委員会

日 時：2016年11月19日（土）13:00～18:00

会 場：三重県総合博物館・レクチャールーム（三重県津市一身田上津部田 3060）

【プログラム】

第Ⅰ部：施設見学 13:00～14:50 （館長挨拶、施設説明の後、2班で見学）

第Ⅱ部：公開研究会 15:00～18:00 司会：松下聡（福井大学／小委員会主査）

1. 主旨説明 松下聡

2. 講演

①MieMuの基本構想 岡村順子（三重県戦略企画部／元副館長）

②MieMuの展示・収蔵・運営計画 天野秀昭（三重県総合博物館・課長／学芸員）

③MieMuの建築計画条件の工夫 中根大字（三重県土整備部／元新博物館整備推進室）

ショートトーク①プログラミングのデザインへの効果 神宮司高久（日本設計）

ショートトーク②プログラミングのFMへの効果

安藤亨（三重県伊勢建設事務所／元新博物館整備推進室）

3. パネルディスカッション 司会：柳父行二（セカンドカード研究処）

4. 総括 今井正次（三重大学名誉教授／元三重県文化審議会新博物館のあり方部会部会長）

定 員：35名

参加費：会員 1,000円 会員外 1,500円 学生 500円 （資料代含む／当日払い）

申込方法

[Web申込] <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1578> からお申し込みください。

問合せ：事務局 事業G 浜田 TEL 03-3456-2057